

# 市民活動団体の通信簿（セルフチェックシート）

団体名 NPOニッポロ・アクティビティクラブ 加茂茂原「はちま」

団体及び事業の概要：「自立・奉仕・助け合い」をモットーに、シニアの積極的な社会参加を促す。会員同士の助け合い活動及び地域高齢者への支援や子育て・子ども支援等のボランティア活動による社会貢献活動を行っている。また、会員の自立活動にサポートを行う活動も行っている。

代表者名

記入日

令和6年4月4日

評価項目と評価の観点	評価	自己評価に関する 団体コメント
<b>1. 団体運営</b> 総会、役員会等を開催し、団体の事業報告・決算及び事業計画・予算を決議の上、事業を執行している。	A	「市民参加」に向けて、更に一歩、先を急ぎたい。現在市民参加のイベント等も社会的に積極的活動を行っているが、先急ぎの成果が期待できない。より一層の努力が必要でいる。 他年度に引きついで、過剰と考えている。
<b>2. 情報公開</b> 紙媒体やウェブサイト、SNS等を通じて、団体の基本的な情報や活動内容を公開している。	A	
<b>3. 目的</b> 団体の目的を明文化し、各事業のふりかえりや見直しを実施している。	A	
<b>4. 法令遵守</b> 事業の執行にあたり、法令を遵守している。	A	
<b>5. 会計処理</b> 資金の管理について、複数人によるチェック体制があり、会計年度ごとに監査を行っている。	A	
<b>6. 市民参加</b> 事業の対象となる地域の課題やニーズを関係者から汲み取り、多様な市民の参加を得ている。	B	

「市民活動団体の通信簿」は、団体の運営が適切に行われているかを点検するため、会計年度の終了後に、項目別に4段階※で自己評価を実施するものです。

自己評価の結果を、市民活動支援センター「まちびとCaffe」のウェブサイト等で公開することにより、透明性の高い団体であることを広く周知することができます。

※4段階の自己評価

- A：適切であった
- B：改善を要する
- C：抜本的な見直しが必要
- D：不適切であった

当団体は、以上のセルフチェックの内容について、市民活動支援センターのウェブサイト等で公表することを了承しました。